



少子化が進む中でのスポ少活動

6月2日に平成28年度の県スポーツ少年団の総会が新潟市で開催され、参加してきましたが、各地区の現況報告の中で「少子化により団員数が減少し、単位団の活動に支障がある。」とか「参加資格が4年生以上の大会に、3年生が入らないとチームが組めない。」などの話が数多くありました。

阿賀野市スポーツ少年団も「スポーツを通じて青少年の心身を鍛錬し、その健全育成を図り、合わせて地域社会の発展振興に寄与する。」

ことを目的としていますが、今年度も42団体 930人余が登録し活動をしています。しかしながら、団員不足は大きな問題であり、昨年、野球では市内の各チームより選出をして「オール阿賀野ジュニア」を結成し、全国大会で見事第3位という立派な成績を挙げました。またバレーボールでは「水原・新津ソレイユ」が県大会を勝ち抜き、見事全国大会出場を果たしました。

子供たちが好きなスポーツを一生懸命やっても、チームができなければ大会にも参加できないわけですから、連合で出場することも一つの方法ではないかと思っています。

昨年度、永年にわたりスポーツ少年団育成指導に尽力されたことなどに対し、井上易喜体育協会会長が、日本スポーツ少年団顕彰を受けました。また、新潟県の顕彰を、8名の方々が受章されました。受章された皆様誠におめでとうございます。

水原総合体育館が改装工事のため、昨年の7月22日より使用ができなくなり、活動をされていた団体や個人の皆様に大変不自由な思いをさせましたが、今年の2月28日に待望のリニューアルオープンとなりました。

当日は、記念事業として「プロに学ぼう阿賀野市小中学生バスケットボール教室」が開催され、市内の小中学生91名が参加をいたしました。講師には新潟アルビレックスBBラビッツの井上愛選手、梅木智加子選手、大濱杏華選手、山澤恵選手、木暮彩華選手の5名をお迎えし、熱心な指導をいただきました。準備体操の後4グループに分かれ指導を受けましたが、5人の選手からは順番にグループを回りながら、真剣にそして楽しく指導をしていただきました。

統括担当の長崎俊也さんに「中学生メンバーから選抜して、アルビの選手たちと試合をやったとしたらどんなふうになるのでしょうか？」尋ねたところ「おそらくうちのチームからは1点も取れないでしょうね。」と笑っておられました。2時間程度の講習会でしたが、参加者には大変好評でした。

新潟県スポーツ少年団は「スポーツ界における暴力根絶宣言」を打ち出していますが、合わせて「いじめ根絶」にも取り組んでおります。

阿賀野市スポーツ少年団でも役員・指導者ともに明るく楽しくスポーツ活動ができるように協力してやっていきたいと思っております。

皆様方のご協力もよろしくお願い申し上げます。

平成28年8月

阿賀野市スポーツ少年団 本部長 新田 眞輝